

高校生の化粧品に対する意識の改革

3年4組30番 藤本琴羽 3年5組11番 小野紗花
3年5組24番 手塚日菜 3年5組30番 西堀希美
3年5組37番 山本有香音

keyword:「動物実験」「自然由来」「地域連携」「EU」「JAVA」

1. はじめに

動物実験とは人間に対して危険が生じる可能性のある化学物質などを、人間に適用する前に、まず動物に対して安全かどうかを確認する実験のことである。The humane societyという団体が制作した「ラルフを救え」という動画を見た。それは動物実験が世界で広く行われている現状に抗議する内容だった。化粧品などを人に適用する前に動物に対して実験し、それによって死んでしまう動物がいるということを知った。そこで、化粧品に対する動物実験を減らすためにできることは何かを考え、実践した。

2. 序論

・目的

EUでは、動物保護団体や市民による化粧品の動物実験反対運動が行われた。その結果2004年9月11日より、EU域内で化粧品の完成品のための動物実験を禁止した。また、2009年3月11日より、代替方法が確立されているか否かにかかわらず、EU域内で、化粧品の原料及び原料の組合せのための動物実験が禁止された。2009年3月11日より、EU域内における、動物実験が行なわれた化粧品の完成品、原料及び原料の組み合わせ輸入及び販売が禁止され(反復投与毒性、生殖毒性、毒物動態の各試験領域を除く)、2013年3月11日より、代替方法が確立されているか否かにかかわらず、上記3試験領域で動物実験が行なわれた化粧品の完成品、原料及び原料の組合せのEU域内における輸入及び販売禁止が法律によって定められた。日本でも複数の企業は動物実験を行わずに商品を生産・販売しており、JAVA(NPO法人動物実験の廃止を求める会)は動物実験を行っている研究機関や企業に動物実験をしないよう働きかけている。しかし私たちは、日本の消費者は動物実験に対する意識が低く、動物実験をしないように務める企業やJAVAの働きかけが届いていないと感じている。そこで私たちは、消費者の意識を変えるために動物実験をしていない商品を広めようと考えた。

・方法

まずは私たち自身が動物実験や自然由来についての知識を身につけるために、動物実験をしていない商品を扱う企業の方や、それらを販売する方からお話を伺った。また、たくさんの人に動物実験について知ってもらうために、地域のイベントに参加し、動物実験について自分たちが学んだことを伝えた。

3. 本論

・結果

1. インタビューの実施

本研究を行う上で、以下の個人や企業にインタビューを行い様々な情報を得た。以下にインタビューを行った個人や企業と、得た情報を記す。なお、企業については、およそ40

社にインタビューを依頼し、5社から返答があった。このうち、2社に日本の現状や商品開発をする上で工夫されている点などをインタビューした。

- a. 動物実験をしていない化粧品を販売しているオーナーの方(2022年12月19日)
- 人と動物では毒に対する代謝が異なるため、動物実験を行ったから100%安全だとは信用できない。
 - 石油由来のハンドクリームは一時的な効果であるが、植物由来のものは肌に優しい成分であり、少量で長時間保湿ができ、高い持続力がある。
- b. ethicame(2023年1月25日)
- EUでは動物実験が禁止されているため、認証マークがない商品は販売できない。しかし、日本ではそのような条件は存在しない。また、消費者の動物実験に対する意識が低いため、認証マークは購入の基準にはならない。そのため日本では、動物実験をしていない企業であってもパッケージにその記載がない。
 - 化学物質を使用している商品は、使用者によっては意図しない化学反応が起こる可能性があるため、その物質が安全かどうかを確かめるために動物実験をする。植物由来の商品は人工的な化学物質が入っていないため、動物実験をせずに生産することができる。
 - 動物実験の代替方法として、豚や牛などの目の角膜を使ったり、人工的に作った角膜で試験したりするなどがある。
 - 30・40代は金銭的に余裕があり、植物由来だからいいという理由で購入している人が多い。動物実験に対する問い合わせは若者が多いことを知った。
- c. 松山油脂株式会社(2023年3月8日)
- 一部の原材料の生産、商品の開発、自社工場での製造、商品の事前試用(製品のテスト)を自社で行っているため、コストを削減できる。石油は原価が安いいため、石油性の商品はコストを広告費などに回すことができる。一方、植物性の商品は原価が高いため値段も高くなってしまい、広告費などにはお金を費やせないが、人が多く集う商業施設や日用品店などの販売料金がかからないところに商品の設置依頼を行うため、広告がなくても知名度を確保することができる。



2. 調査内容の発表

- a. 長崎東高等学校WWL探究発表会(2023年3月22日)

上記のインタビューで得た化粧品に関する動物実験についての情報をまとめ、WWL探究発表会で化粧品に対する意識の改革をテーマに発表した。視聴する高校生に向けて発表することで、商品を購入する際、選ぶ商品が変わるきっかけを作ることができたと考える。また、動物実験が行われているという現状やそれが問題になっていること、これから動物実験のない未来にするために私たちにできることを伝えることができた。

- b. たねの学校(2023年5月27日)

地域で開催された環境のイベントに参加し、高校生だけでなく全国から参加した約70人の多様な世代の人々に、動物実験や、オーガニック化粧品などについての今まで学んだことをまとめ発表した。また、自分たちでパンフレットを作成し、配布した(下図)。地域の人と交流し、多くの意見交換をすることができた。実際に私たちの話を聞き、その内容に興味を持ち、ご自身が経営する店舗に私たちのパンフレットを置くことを申し出てくれる人もいた。



ethicameさんからイベント用にシャンプー、コンディショナー、ハンドバームの試供品を用意していただき、興味を持ってくださった方に渡すことができた。

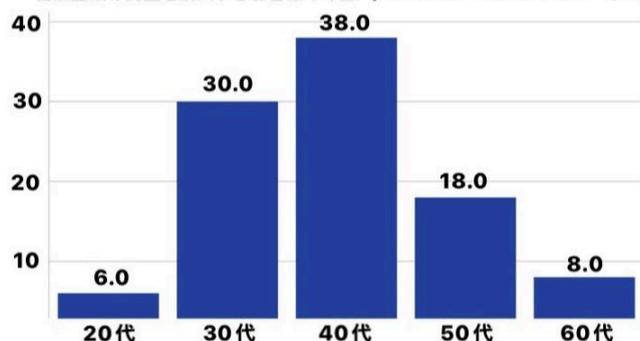
「動物実験をしていない商品の中でも、シャンプーやハンドクリームに比べて、リップクリームを扱う店舗が少ない」など、それらを必要としている人の声を聞いた。また、「シャンプーを使ってみたくて思っていたので嬉しい」という意見もあった。しかし、興味を持っていても購買行動に移さなかったり、知名度が低いためインターネットで見つけにくかったりするという現状もわかった。これらのイベントを通して、動物実験をしていない商品を広めることができた。

・考察

1.インタビューの実施

右図は、企業へのインタビューでわかった、同企業の商品を購入されるお客様の年齢層を示したグラフである。グラフより「自然由来の商品」を買う年齢層は20代が少なく、30・40代が多いことがわかる。このグラフだけを見ると、若者は環境問題への意識が低いように見えるが、企業の方によると、動物実験や環境問題に関する問い合わせは、若者の方が多い。よって、若者はSDGsなどの環境問題への意識が高いことがわかる。しかし、行動には移せていない人が多くいるように感じた。今回のイベントや発表会の参加者はごく一部の消費者ではある

自然由来の商品を購入するお客様の年齢 (ethicameへのインタビューより)



が、こういった活動を続けることで少しずつでも日本の消費者の意識が変わり、いつか動物実験はなくなると期待する。このことから、イベントや発表会に参加するだけでなく、若者にとって身近なSNSで発信を行い、商品を購入する際に目につくようなPOPなども作成し、啓発活動を続けようとする。

4. 結論

・まとめ(要約)

本活動では、人とのつながりを大切にしてきた。動物にやさしいものづくりとは、自然由来の商品であることを知った。パッケージのデザインを可愛くすれば動物実験をしていない商品も売れるなど、安直な私たちの考えでは根本的な解決にはつながらなかった。だが、一人ひとりの意識を変えることで動物実験をしている商品をなくせることがEUの事例により明らかである。そこで一人ひとりの意識を変えるために地域のイベントや発表する場に積極的に参加し、人々へ伝える活動を続けた。

・今後の課題

イベントで伝えることができる人数は限られている。だが、参加者との距離が近いので、相手の声も聞くことができる。今後も積極的にこのようなイベントに参加し、様々な人に動物実験の現状を伝える。また、より多くの人に伝えるためSNSでの動物実験についての発信を行う。

5. 参考文献・出典

1, JAVA NPO法人動物実験の廃止を求める会

<https://www.java-animal.org/animal-testing/cosmetics/eu/>

<https://www.java-animal.org/animal-testing/ourvoice/>

参照日:2022.5.30

2, 「Save Ralph」

<https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=video&cd=&ved=2ahUKEwjZpqCP2q6CAxXWUt4KHQ2UB-MQtwJ6BAgPEAI&url=https%3A%2F%2Fwww.youtube.com%2Fwatch%3Fv%3DkWxcRUDm8zU&usq=AOvVaw1qDWs-L-weFMU7mjsNrgeK&opi=89978449>

<https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=video&cd=&ved=2ahUKEwjZpqCP2q6CAxXWUt4KHQ2UB-MQtwJ6BAgPEAI&url=https%3A%2F%2Fwww.youtube.com%2Fwatch%3Fv%3DkWxcRUDm8zU&usq=AOvVaw1qDWs-L-weFMU7mjsNrgeK&opi=89978449>

参照日:2022.5.9

3, 大手化粧品メーカー19社からの回答

<https://www.java-animal.org/topics/2013/08/23/8238/>

4, 「JAVAの活動」『JAVA NPO法人動物実験の廃止を求める会』

<https://www.java-animal.org/activity/>